



# 子どもの笑顔があふれる「おもちゃ病院」。 物を大切にする気持ちを、次世代へ

このコーナーは、子育て中のママ/パパも応援する活動レポートです。今回は「高知おもちゃ病院」の高知診療所を訪問。子どもたちの壊れたおもちゃを直してくれるボランティア団体です。



## 1 Dr.がおもちゃを治療

子どもたちの大好きなおもちゃ。そのおもちゃが壊れてしまったとき、皆さんはどうしていますか？ 本当は直したいけれど自分ではできない。仕方がないから捨てる新しい物を買ってあげようか……。そんな悩みをお持ちのママ/パパ、そしてお子さんにとって救世主となるのが「高知おもちゃ病院」です。同院は、子どものおもちゃを原則無料で修理(治療)してくれる場。全国組織の団体で、2015年4月、高知にも開院しました。おもちゃを直してくれるのは養成講座を受講したドクターたち。高知には現在31名の会員がおり、楽しみながら活動を行っています。

おもちゃを分解して、動かない原因を探す。過去のデータを参照し、会員同士技術を共有

## 2 喜ぶ顔を見るとうれしい

ドクターたちは平均年齢68歳のボランティア。プロではないため、全てが直るわけではありません。それでも、2016年4月末の時点で修理実績は550件を超えたそう。予約は必要なく、できるものはその場で直してもらえます。時間がかかりそうな場合は「入院」に。「何が原因かみんなであれこれ言い合うのも楽しいんですよ」とドクター。所長の谷さんは「おもちゃが直ったときの子どもの顔を見ると、本当にうれしくなりますね。物を大事にする気持ちも伝えていきたいです」と話してくれました。



ほとんどが電気系の修理。「今後の参考にします」と話すお父さん(右)とのか



## 3 活動の場を県西部にも

取材に訪れた日も、思い入れのあるおもちゃを持参した数組の親子がやってきました。心配そうに修理の様子を見つめる男の子。物があふれる現代ですが、どうして動かないか疑問を持ち、それを直して大切にしていこうという一連の考えが、ここでは自然に身に付きます。今は高知と南国の2診療所のみですが、ゆくゆくは県西部にも診療所を開設したいと谷所長。ボランティアさんが生き生きと活動し、その気持ちが子どもにも親御さんにも伝わる高知おもちゃ病院。これからの活動にも期待しています。



### 高知おもちゃ病院

診療日は、高知診療所が毎月第2・4土曜、南国診療所が第1・3土曜。対象は14歳以下のおもちゃで、部品代は別途必要(300円またはお約束の保証額を超える場合は事前に連絡)。

★5月14日(土)10:00~15:00 高知診療所  
[高知市大塚町132 NPO高知県生業学舎支援センター]  
★5月21日(土)10:00~12:00 南国診療所  
[南国市文鶴甲2122 からくり創造工房]  
☎/380-2991-3331(高知) <http://toyhospital-kochi.blog.jp>